

楯中通信

令和2年
2月28日
発行

漢字1文字に思いを込めて



2月1日、2学年の親子行事として「立志式」と「進路学習会」を行いました。その様子は翌日の山形新聞に「未来に掲げる1文字」という見出しで掲載され、「2年生129人が夢や目標に向かって自らの道を切り開く誓いを立てた」という文面に取り上げられました。子どもたちは漢字1文字を書いた色紙を掲げ、自分の思いを堂々と発表しました。ここでは代表して3名の思いを紹介します。

芯：自分で決めたことをしっかりやり遂げる「芯」のある人間になりたい。これまで自分で決めたことをめんどくさがったり、後回しにしてしまうことがありましたが、「芯」のある人間になることが自分の夢を叶える第一歩だと気づきました。これからは「芯」のある人間になれるよう日々努力します。

挑：何事も「挑戦」しないと変わらないと思ったから。勉強や日常生活で「挑戦」してみることで何か変わっていき、自分の中の経験値が増えていく。「挑戦」して失敗しても後悔しないと思う。私は夢や目標に向かって挑戦し後悔しない人生を送りたい。

想：「想」には、思いをめぐらす、考える、計画を立てるなどの意味がある。今年は最高学年。将来を見据えて、職業を考えたり、勉強を今以上に頑張ります。そして、周りの人を大切に想い、周りの人からも大切に想われるようになりたい。

立志式は、元服にちなみ、数え年で15歳を祝う行事。本校2学年の学年行事としてここ数年は定着しています。さらに昨年度から「立志式」と「進路学習会」をセットで行い、本県高校の概要や選抜方法を学び、入試の理解を親子で深め1年後の高校入試に備えるようにしています。

※右の写真は、「進路学習会」の一場面です。一つの資料を親子で真剣に見合っています。



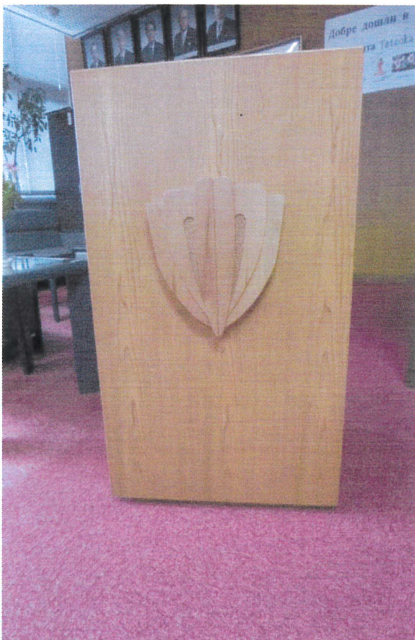
鯛の掲示物（進路激励）

3年生は私立高受験と公立高推薦入試が終わり、現在は3月10日の公立高校一般入試に向けて全力で頑張っています。

3年生の受験シーズンが始まった1月末から、3年生への激励メッセージを書いた鯛の掲示物が生徒昇降口に張り出されています。鯛のうろこには、1、2年生一人一人が心を込めて書いたメッセージが書かれてあり、受験生に勇気を与えています。メッセージには、「努力は天才を勝る」「自分を信じて頑張ってください」「粘り強く頑張って you can do it.」「先輩たちならできます」などがあり、3年生の先生方からも「一意専心」など心温まる励ましの言葉が添えられています。



先輩からの贈り物



今年度も地域の皆様よりたくさんのお寄せをいただきました。

写真左は、行事等で使う進行用の「校章つきの司会者台」です。

写真右は、職員玄関に立てている2年連続文部科学大臣表彰を祝う「看板」です。

その他「プリンター一式」、運動会で使う「四方綱と鳴子」、「新聞社の写真ニュース」や「書籍」等の寄贈があり、広く活用させていただきました。ありがとうございました。

体育スポーツ優秀選手

本校の14名が山形県中学校体育連盟より、令和元～2年度山形県中学校体育スポーツ優秀選手に指定されました。今後の活躍が期待されます。

【柔道】川田俊介（2年）・吉田夏生（2年） 【体操】丸山霸王（2年）

【新体操】増子美奈（2年）・庄司柚香（2年）・佐藤陽花里（2年）

植松優希奈（1年）・石川冬聖（1年）

【バスケットボール】大山留愛（2年） 【陸上競技】黒沼つばさ（2年）

【バレーボール】工藤大和（2年）・柴田里桜奈（2年）

【ソフトボール】鈴木彩那（2年）・鈴木希彩（2年）



令和元年度楯中パワーアッププロジェクト総集編



オリジナル生活記録ノート



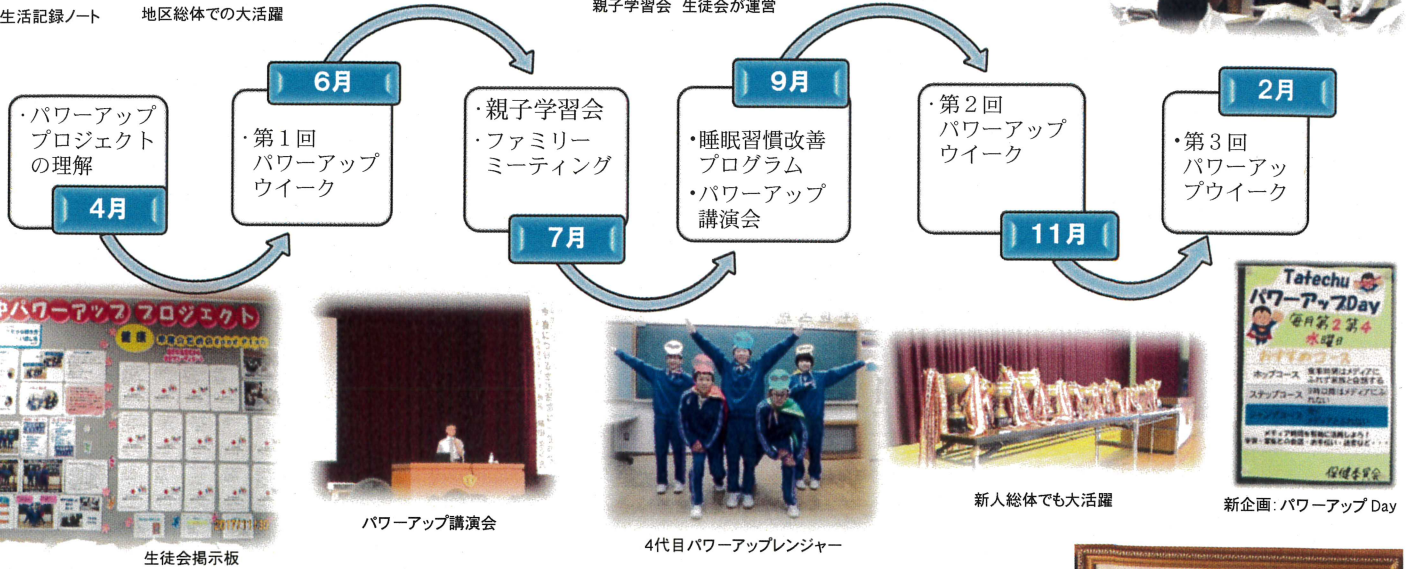
地区総体での大活躍



親子学習会 生徒会が運営



睡眠習慣改善プログラム
保健委員がリーダー



生徒会掲示板



パワーアップ講演会



4代目パワーアップリーダー



新人総体でも大活躍



新企画: パワーアップ Day

学習時間と睡眠時間をダブルで確保し成績アップを目指す「第3回パワーアップウィーク」が終了しました。規則正しい生活習慣は、健康を保持増進し、学力・体力・気力向上を実現する基本になります。成長期の皆さんには重要な習慣です。

3年生の皆さんには、卒業後も起床時刻・家庭学習開始時刻・就寝時刻の『生活時間の3点固定』を自分自身の成長のために継続してほしいと願っています。



パワーアップリーダー* 3年生保健委員の感想

これらの取組が認められ学校保健
文部科学大臣表彰を受賞しました

寝る前にメディアを使わないことを続けていたら、朝の目覚めも良くなりました。

また目標を決めることで、守ろうという気持ちも強くなり、目標を決める前より睡眠時間も増えました。

友だちと良質な睡眠をとることについて話したりして、クラス全体の意識も高まっているのを感じ、やりがいも感じました。



パワーアップリーダーとしてクラスの人に呼びかけることを通して、自分自身もメディアの時間を減らしよい生活習慣を身につけることが出来ました。

メディア時間を減らしたら学習時間が確保できたことが自分自身の成長です。リーダーとして人前で話すのはたいへんでしたが、自分自身の生活に対する意識が高まったと思います。

パワーアップリーダーになったことで、さらに意識して日頃の生活をおくることが出来ました。

今まで寝るのが遅かったり、休日の起きる時刻が昼頃になったりすることがあったのですが、今回の取組で生活習慣が改善され、健康的に生活できるようになったので、今後も継続したいと考えています。



パワーアップウィークの学びを日常にも活かそう

第1位 時計を見ながら行動する

帰宅してから、寝る時刻まで...家に帰ってゆったり過ごしていると、時間はあっという間に過ぎていきます。学習開始時刻や就寝時刻はもちろん、休憩時間、お風呂に入る時間 等を具体的に決め、時計を見ながら行動することで、予定通り過ごせたと報告してくれる人が多かったです。

第2位 早めに活動する

いつもより早めに風呂に入ったり、ご飯を食べた後すぐに活動を開始したりしている人も多いです。

学習時間を確保するために、「ゆったり過ごす時間を学習時間にチェンジする」工夫ですね。

第3位 やることを先にする

メディアにふれたい気持ちや寝てしまいたい気持ちをぐっとこらえて...「今、先にすべきこと」を先にする。優先順位を決めて行動して成果を上げた人がとても多いです。



2年連続 県最優秀賞

情報科学部が制作した作品が、「第68回山形県自作視聴覚教材コンクール」で最優秀賞に輝きました。2月15日、山形県生涯学習センター遊学館で表彰式と最優秀受賞作品の発表があり、代表生徒が参加しました。

今回選ばれた作品は、「山形の Soul food 芋煮！～我が家の芋煮事情～」で、地域の当たり前前となっている「芋煮」を題材にして、郷土料理の理解を深めるとともに、子どもたちが大人になっても自ら調理することで伝統を引き継ぐこと、そして郷土愛の醸成と郷土意識を涵養することをねらいとしています。県内や隣接する他県の芋煮を比較することで、使う食材や調味料が地域によって異なるなど興味深い内容ともなっています。なお、昨年度の「家ごと違う 我が家のお雑煮事情」に引き続き、**2年連続の最優秀賞**でした。

〜 審査員の作品寸評 〜

学習の成果として自分たちで作品づくりに取り組んでいる点、伝えたいことが焦点化されている点、地域に根ざした「芋煮」を題材にしている点が評価できる。地域ごとの対比といった視点を取り入れてまとめているところもおもしろい。

今回のコンクールでは、もう一つの作品「あいさつで広げる令和の輪」が入選しています。寸評では、あいさつに対しての熱意、精一杯制作した生徒の思いが伝わってくる、自分たちの課題意識から出発した中学生らしい作品に仕上がっていると評価していただきました。生徒会が取り組んできたこれまでの活動を高く評価していただき、子どもたちの今後の励みになりました。

ワクチンを届けよう



生徒会ではペットボトルキャップを収集し、そのリサイクルによる収益金で開発途上国の子どもたちにワクチンを提供する「エコキャップ推進活動」を展開しています。キャップをリサイクルすれば6.7キロ（2,870個）で1人分のポリオワクチンが購入でき、子どもたちの命を救うことができます。2月21日、山形銀行の齊藤課長さんに来ていただき、今年度収集した100.7キロのキャップを贈呈しました。この中には、「グループホーム香紅の里」の皆さんからいただいたキャップも含まれています。ご協力ありがとうございました。

3月の主な行事予定

- 10日(火) 県内公立高校一般入試（3年生休業日） 1. 2年生学年授業
- 12日(木) 3年生情報モラル講座・同窓会入会式
- 13日(金) 3年生生徒会退会式
- 15日(日) 修了式
- 16日(月) 第15回卒業証書授与式
- 17日(火) 振替休業日 公立高校合格発表
- 18日(水) 年度末休業（～3/31）反省職員会議
- 27日(金) 離任式